

事務事業 No./名称	■サービス部門 都整-34		下水道使用料等賦課徴収事業				
主管課	道水路管理課	関連課	下水道河川課				
分野名	下水道・河川						
目標 (目標値)	公共下水道の占用料を適正に徴収する。						
人口等の データ	データ区分	24年度	23年度	22年度	備考		
	人口	177,224人	177,204人	177,161人	・各年4月1日 (住民基本台帳)		
	世帯数	79,669世帯	79,217世帯	78,812世帯			
運営資源 状況	事業の対象者数						
	決算値(千円)	123	138	63			
	(国・県)						
	(負担金等)						
	(一般財源)	123	138	63			
	人員配置数	0.5	0.5	0.5			
	人件費(千円)	4,108	4,358	4,393			
事務事業 運営経費	協働の パートナー						
	総事業費(千円)	4,231	4,496	4,456			
	市民1人当 りの経費(円)	24	25	25			
	対象者1人 当りの経費(円)						
ベンチマーク (県内外自治体 や民間団体と の比較値)	団体名⇒						
指標	評価	年度	21年度	22年度	23年度	24年度	最終年度(27年度)
		目標値					
◎目標を達成 ○目標に向かって前進 △横ばい ×後退		実績値					

評価のポイント

評価の視点	①効率性	事業費や人件費に削減余地はないか。	②妥当性	事業の目的と政策・施策体系の目標とが整合しているか。法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか。
	③有効性	事業の成果が得られているか。事業を休止・廃止した場合影響があるか。	④公平性	受益機会が偏っていないか。受益者負担は公平・公正か。

中事業に含まれる小事業の評価(⇒個別事業の概要は裏面)

小事業名	H24決算値	評価	適切=○、要改善=△(評価の視点を参照)	⇒ 方向性	A: 充実・拡大 B: 現状継続 C: 改善・見直し D: 統合縮小 E: 廃止・休止
下水道使用料等賦課徴収事業	123千円	①効率性 ○ ②妥当性 ○ ③有効性 ○ ④公平性 ○		⇒ □A ■B □C □D □E	
	事業の概要	公共下水道の占用料を適正に徴収する。			
		①効率性   ②妥当性   ③有効性   ④公平性		⇒ □A □B □C □D □E	
	事業の概要				
		①効率性   ②妥当性   ③有効性   ④公平性		⇒ □A □B □C □D □E	
	事業の概要				
		①効率性   ②妥当性   ③有効性   ④公平性		⇒ □A □B □C □D □E	
	事業の概要				

事務事業の課題及び取組状況

H24年度の課題	納期までに占用料を納付しない占有者への対応。		
課題解決のための取組	電話や文書通知による督促を行い、占用料の徴収率を上げる。	取組の結果	□解決 ■未解決
未解決の課題	占用料の支払い義務者の転居時期、転居先等の状況把握ができていない。		

中事業の評価と今後の方向性

中事業の評価	適切=○ 要改善=△ (評価の視点を参照)	①効率性 ○	今後の 方向性	A: 充実・拡大 B: 現状継続 C: 改善・見直し D: 統合縮小 E: 廃止・休止	※□事業完了	
	➡	②妥当性 ○		未納者の所在を追跡調査し、文書通知等による督促を行う。	B	課長等名
		③有効性 ○				道水路管理課担当課長
		④公平性 ○				杉田 公敬

